フィギュアスケート採点技法

小高あたる 著

目次

第1章	概要
1.1	ISJ
第2章	技術要素とフットワーク 2
2.1	ジャンプ 2
	2.1.1 分類
	2.1.2 回転数と回転不足 2
	2.1.3 エッジエラー
2.2	スピン 8
	2.2.1 基本姿勢とバリエーション 3
	2.2.2 スピンの種類
	2.2.3 基本姿勢
2.3	ステップ・シークエンス
2.4	コレオ・シークエンス E
2.5	フットワーク・トランジッション 5
	2.5.1 ターン
	2.5.2 ステップ
	2.5.3 ノンリステッド 5
第3章	演技規定 6
3.1	必須要素 6
	3.1.1 ショート
	3.1.2 フリー
3.2	衣装
3.3	減点
第4章	技術要素点(TES) 7
4.1	基礎点
4.2	レベル
4.3	出来栄え点(GOE)と SOV
第5章	演技構成点(PCS) 8
5.1	スケーティングスキル

目次

	5.1.1 定義	8
	5.1.2 基準	8
5.2	要素のつなぎ	8
5.3	実行・遂行力	8
5.4	振り付け	8
5.5	音楽との調和	8
第6章	プロトコルの読み方	9
6.1	プロトコルとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
6.2	TES 詳細部	10
6.3	PCS 詳細部	10
第7章	ジャッジ	11
7.1	テクニカル・パネル	11
7.2	ジャッジ・パネル	11

第1章

概要

1.1 ISJ

ISU Judging System、あるいは Code of Points。 策定経緯。。。

技術要素点+演技構成点-減点

● テクニカルパネル:ジャンプの回転不足、エッジ。レベル、転倒

● ジャッジパネル:GOE、PCS

第2章

技術要素とフットワーク

2.1 ジャンプ

2.1.1 分類

ジャンプの種類

- A:アクセル
- Lz:ルッツ
- F:フリップ
- Lo: ループ
- S:サルコウ
- T:トゥループ

組み合わせによる分類

- ソロジャンプ
- コンビネーション・ジャンプ
- ジャンプ・シークエンス

2.1.2 回転数と回転不足

1 回転から 4 回転。

- UR: 1/4 以上 1/2 未満不足
- DG: 1/2 以上不足

テクニカル・パネルが判定。

2.1.3 エッジエラー

F/Lz

2.2 スピン

2.2.1 基本姿勢とバリエーション

- アップライト (U)
- シット(S)
- キャメル (C)

基本姿勢	Forward 前に向く	Sideways 横向<	Behind 後ろに置く	Upwards 上向<	Straight and Sideways ストレ <i>ー</i> トか 横	Biellman ビールマ ン	Layback レイバック
UPRIGHT	UF	-	-	-	US	UB	UL
SIT	SF	SS	SB		-	-	-
CAMEL	CF	CS	-	CU	-	-	-

図 2.1 難しいポジション

2.2.2 スピンの種類

- 単一姿勢のスピン
 - アップライト (USp)
 - レイバック (LSp)
 - シット (SSp)
 - キャメル (CCp)
- コンビネーションスピン (CCo)

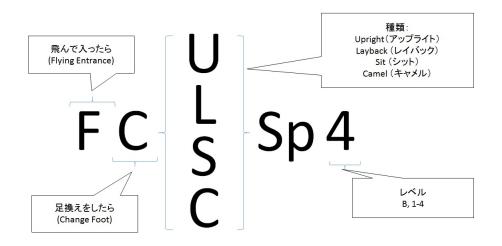


図 2.2 単一姿勢のスピン

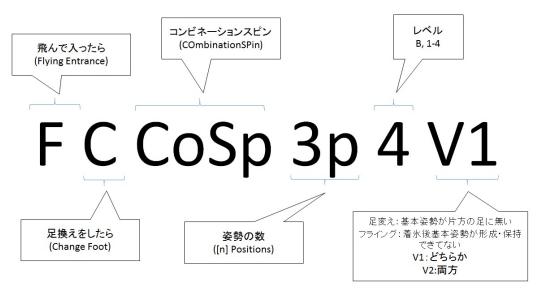


図 2.3 コンビネーションスピン

- 2.2.3 基本姿勢
- 2.3 ステップ・シークエンス
- 2.4 コレオ・シークエンス
- 2.5 フットワーク・トランジッション
- 2.5.1 ターン

スリー、ブラケット、ロッカー、カウンター、ループ、ツイズル

2.5.2 ステップ

シャッセ、モホーク、チョクトウ、ロール

2.5.3 ノンリステッド

イナバウアー、イーグル、スパイラル、ハイドロ、ウィンドミル

第3章

演技規定

- 3.1 必須要素
- 3.1.1 ショート
- 3.1.2 フリー
- 3.2 衣装
- 3.3 減点
 - 転倒
 - 禁止要素:バックフリップなど
 - タイムオーバー
 - アナウンスから 30 秒以内に開始
 - 演技時間
 - SP: 2'50 を超える
 - FS: 規定時間 +-10 秒
 - 衣装の落下

第4章

技術要素点(TES)

4.1 基礎点

[基礎点表]

4.2 レベル

- ジャンプ: なし
- スピン、ステップ・シークエンス: LvB,1,2,3,4。
- コレオ・シークエンス: Lv1 固定

4.3 出来栄え点(GOE)とSOV

Grade of Execution。出来栄え点とも。-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3。 プラス面を評価したのちエラーによるマイナスを勘案。

第5章

演技構成点 (PCS)

0.25 から 10.00 まで 0.25 刻み。ジャッジ・パネル

5.1 スケーティングスキル

5.1.1 定義

- 総合的なスケーティングの質
- スケーティング能力(エッジコントロール・フットワーク・加速させる能力)
- 氷上での流れや正確さ。

5.1.2 基準

- 体幹のバランス、膝の使い方、正確な足裁き
- リズム、パワー伝達、体幹を使った効率的な推進能力
- 重心を効率的に使う、無理のない加速
- クリーンでコントロールの効いた滑走能力
- ・ ディープエッジを使ったコントロールされたステップ
- パワー (エネルギー)・スピード・加速の多様性
- 多様な方向・回転方向・フォア・バックのスケーティング
- 片足スケーティングの習熟度や両足スケーティングの少なさ
- 5.2 要素のつなぎ
- 5.3 実行・遂行力
- 5.4 振り付け
- 5.5 音楽との調和

第6章

プロトコルの読み方

6.1 プロトコルとは

正確には、演技終了後に ISU から発行される、競技情報 (日時場所ジャッジ詳細選手成績など)をまとめた文書ではあるが、下図のような各演技の得点詳細の表のことを指すことが多い。

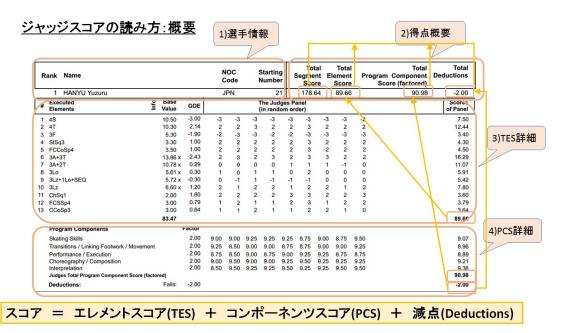


図 6.1 読み方概要

まず上部左部に選手名、国、順位、滑走順などの選手情報、上部右部に TES, PCS, TSS の合計数、そして中央部に TES 詳細、下部に PCS 詳細、減点が記載される。

6.2 TES 詳細部

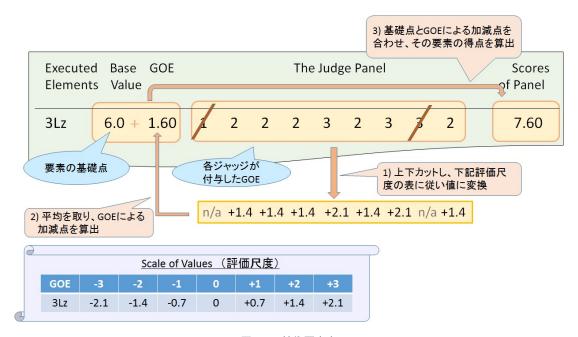


図 6.2 技術要素点

6.3 PCS 詳細部

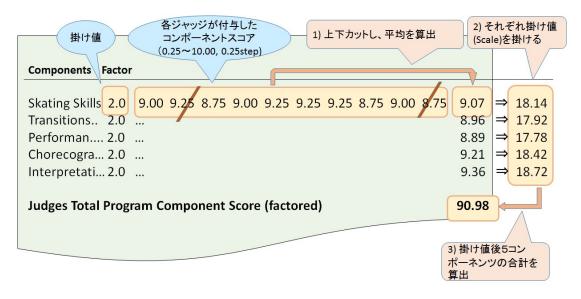


図 6.3 演技構成点

第7章

ジャッジ

- 7.1 テクニカル・パネル
- 7.2 ジャッジ・パネル

フィギュアスケート採点技法

2014年11月21日 v1.0.0 版発行

著 者 小高あたる

編 集 小高あたる

(C) 2015 Ataru KODAKA